

矢作川自然再生事業

干潟の再生について

(1) 自然再生の目標・整備内容

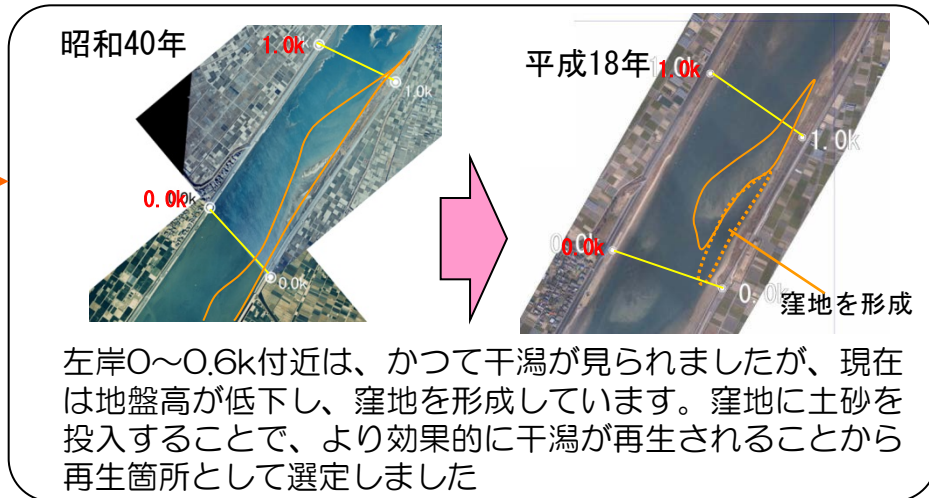
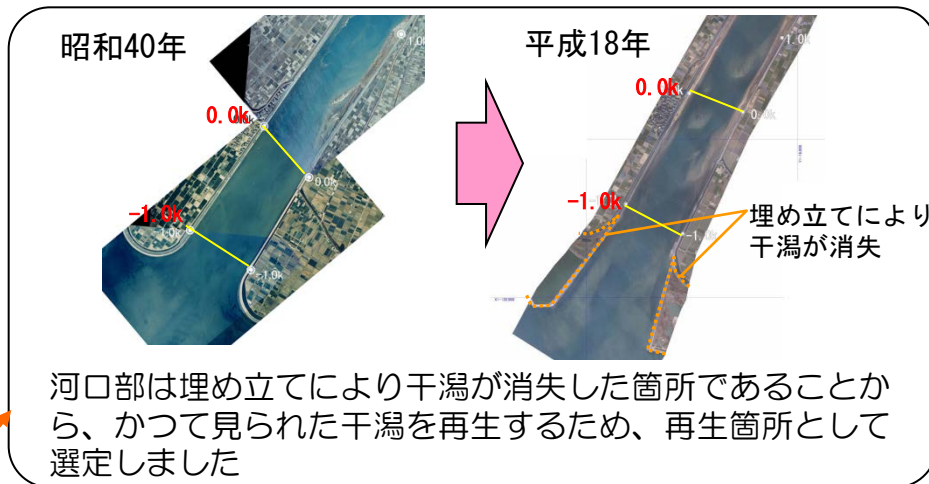
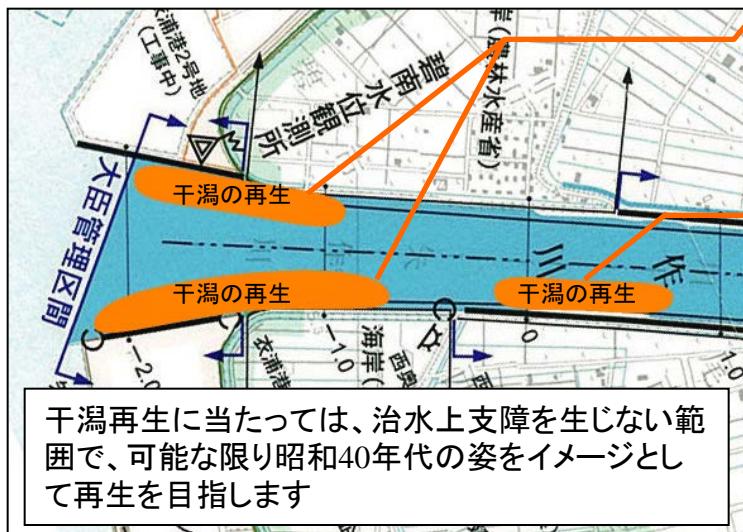
- 自然再生の目標は、多様な生物が生息・生育する豊かな生態系を有していた昭和40年代に見られた姿をイメージとして目指すものです。
- 干潟再生の施工箇所としては、過去からの干潟の変遷等を考慮し、設定しました。

【自然再生の目標】

河川改修や砂利採取等の様々なインパクトにより減少した干潟やヨシ原を、多様な生物が生息・生育する豊かな生態系を有していた昭和40年代に見られるような姿を目指して再生する。

【干潟再生箇所】

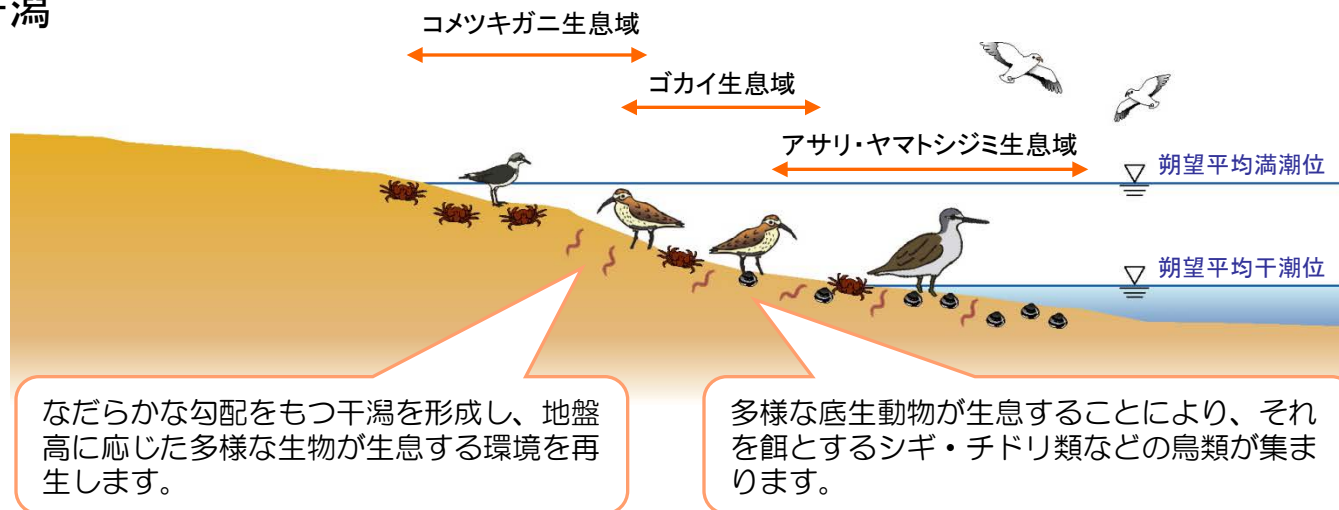
干潟再生箇所は、過去からの変遷等を考慮し以下の3箇所を選定しました



(2) 自然再生により期待される効果

- 干潟再生によって、多様な底生動物が生息することで、それを餌とするシギ・チドリ類等の鳥類が集まるなど、豊かな環境が育まれることが期待されます。
- 水質浄化機能や、親水機能の向上といった効果も期待されます。

●干潟

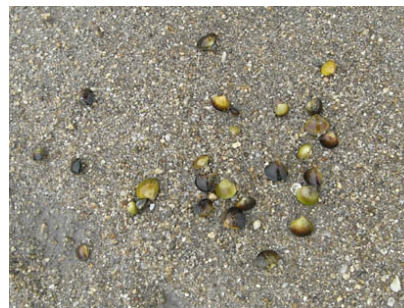


〈干潟を利用する鳥類〉



シロチドリ
(愛知県RDB:準絶滅危惧)

〈砂地の干潟を代表する貝類〉



ヤマトシジミ
(環境省RL:準絶滅危惧)

(3) 事業の実施箇所と進捗状況

- 矢作川の干潟再生は、平成22年より施工を開始し、現在約2haの干潟再生を終えたところです。
- 干潟再生箇所では、シギ・チドリ類の確認種数の増加や、シジミ稚貝やコメツキガニなどが確認されています。

